

| 科目名 | | 建築施工 II | | | |
|--|--|--|--|------|------|
| 担当教員 | 渡部 和久 | | 実務授業の有無 | ○ | |
| 対象学科 | インテリアデザイン科 | 対象学年 | 2 | 開講時期 | 前期 |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | | 時間数 | 32時間 |
| 授業概要、目的、授業の進め方 | 建築現場における施工計画とプロセス、管理方法など工事の進め方と、基本的な仕組みを座学や事例を通して学ぶ。 1. 建築施工の概要と建築物の基礎の重要性を学ぶ。 2. 建築設計と関係が深いことを認識し、環境に適した各工法の基本を理解する。 3. 講義→小テスト→解答→解説を繰り返すことで重要性を理解する。 | | | | |
| 学習目標 (到達目標) | 建築物の構造躯体である鉄骨工事の分野から学んでいきます。この前期ではそのほかの内外装工事であるいろいろな種類の施工方法や製品管理の仕方、材料の種類など詳しく学び、それが理解できる様になる。インテリアコーディネーターの学科試験の項目「施工・構造」分野の問題を通して身に付けていく。 | | | | |
| テキスト・教材・参考図書・その他資料 | ①図説 やさしい建築施工 (学芸出版社) ②配布資料 | | | | |
| NO. | 授業項目、内容 | | 学習方法・準備学習・備考 | | |
| 1 | 鉄骨工事 (工場作業) ①鉄骨造の基礎部分のアンカーセットの工法や工程 ②材料の種類、ボルトの種類、 ③加工図、現寸検査などの役割 ④溶接方法 ⑤鉄骨部材の製品検査の方法 | | 方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～⑤の工程、方法等を理解する 準備学習：教科書①の予習 | | |
| 2 | 鉄骨工事 (現場作業) ①鉄骨の建て方の工程 ②アンカーボルト、高力ボルトの役目 ③耐火被覆との密接性 | | 方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～③作業、機能を理解する 準備学習：教科書①の予習 | | |
| 3 | 屋根工事、防水工事、左官工事 【屋根】 ①屋根工事の種類と雨仕舞の施工方法 【防水】 ①防水工事の種類を理解し、納まりや手法 ②防水の一種でもあるシーリング工事について 【左官】 ①左官工事にかかわる材料の種類 ②工程と施工 | | 方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目【屋根】、【防水】、【左官】の各種類施工法を理解する 準備学習：教科書①の予習 | | |
| 4 | タイル・石工事 【タイル】 ①タイルの種類と施工方法 【石工事】 ①張り石工事の種類 ②施工方法 | | 方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目【タイル】、【石工事】の各種類施工法を理解する 準備学習：教科書①の予習 | | |
| 5 | インテリアコーディネーターの施工・構造分野 ①施工・構造の問題を通して理解を深める。 | | 方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①の各種類施工法を理解する 準備学習：教材②の予習 | | |
| 6 | 順次 小テストを実施する。(2回実施予定) | | 項目1～5から抜粋し小テストで理解度の確認。 解答→解説を行う。 | | |
| 評価方法・成績評価基準 | | 履修上の注意 | | | |
| 期末テストの点に加え、小テスト、授業態度、出席率の内容を総合的に評価 期末試験70%、小テスト20%、授業態度・出席率10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 | | 施工は建築設計に必要な基礎知識として各工法を理解した上で、設計への見聞を広げる。また定期的に小テストを行い習得状況の確認する。2級建築士学科試験 4科目のうちの1科目が「施工」であり、同時にインテリアコーディネーター学科試験でも出てくる分野なのでまた、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかりと理解させる。習熟度を上げるために、正解率の低い回答については、十分な解説を行う。 | | | |
| 実務経験教員の経歴 | 一級建築士として建築現場監督業務を約10年携わる | | | | |